

表1 昭和53年度年間教科指導計画表  
 福島県立福島高等学校 社会(地理)科第1学年

月	配当時間	内 容	備 考 (テレビ録画計画)
4	9	第1編 人間と地球	
		○オリエンテーション	主題(課題)学習をとり入れる。
		第1章 生活圏の拡大と地図 1 生活圏の拡大 2 地図の種類と用途	
		第2章 自然環境 1 地形(水陸の分布・陸地の地形) 2 水	海洋
5	9	3 気候(気候要素, 世界の気候区) 4 人間と自然環境 (自然環境の考え方, 農業開発と自然破壊, 瀬戸内の工業開発と破壊)	環境問題 % , % , %
		第3章 生活と地域 1 人類の諸集団(人口, 人種, 民族, 国家)	人口問題 % , %
		2 産業と地域区分 3 地域調査	
		第1編 人間と地球	
6	12	第2編 世界の諸地域	
		第1章 西ヨーロッパ 概観(位置と歴史) 1 イギリス(資源と産業, 住民と生活) 2 フランス( )	発表学習をとり入れる。 イギリス % フランス % , %
7	9	3 西ドイツ(資源と産業, 住民と生活) 4 イタリア( ) 5 スイス( ) 6 スウェーデン( )	西ドイツ イタリア % , % スウェーデン オランダ % , %
		夏休みの課題として「地域調査」を実施させることも考える。	
8	9	第2章 アングロアメリカ, オセアニア 概観(位置と歴史) 1 アメリカ合衆国 (位置と歴史) (資源と産業) (諸地域の住民と生活)	アメリカ1 % , % アメリカ2
		2 カナダ(資源と産業, 住民と生活) 概観(オセアニアの位置と歴史) 1 オーストラリア(資源と産業, 住民と生活) 2 ニューランド(資源と産業, 住民と生活)	オーストラリア % , % ニューランド ソ連 % , %
9	12	第3章 ソ連, 東ヨーロッパ 1 ソビエト連邦(資源と産業, 住民と生活)	
		2 チェコスロバキア 3 ポーランド 4 東ドイツ 5 ルーマニア	ポーランド % , % ルーマニア キューバ チリ
10	12	第4章 ラテンアメリカ 1 メキシコ 2 キューバ 3 ブラジル 4 アルゼンチン	ブラジル % , %
		第5章 西南アジア, アフリカ 概観(位置と歴史) 1 イラン 2 エジプト・アラブ共和国 3 ナイジェリア 4 南アフリカ共和国	アルジェリア ガナ サウジアラビア % , % モザンビーク % , %
11	9	第6章 南アジア, 東南アジア 概観(位置と歴史) 1 インド(資源と産業, 住民と生活)	タイ % , % マレーシア % , %
		2 パキスタンとバングラデシュ 3 タイ 4 インドネシア	ベトナム % , % インド インドネシア
12	9	第7章 東アジア 概観(位置と歴史) 1 中華人民共和国 2 大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国	モンゴル 中華人民共和国 % , %
		3 日本(位置と歴史, 自然環境, 資源と産業, その他)	
1	9	第1章 世界の交通と貿易 1 交通・通信の発達 2 世界の貿易 (貿易の発展と物資の移動) (世界の貿易類型)	課題学習をとり入れる。 東西貿易 南と北
		第2章 国家と国家群 国家群の形成 (先進資本主義国の結合, 社会主義国の結合) (発展途上国の結合) 2 世界の結びつきと日本(国際連合と日本)	世界の中の日本人 % , %
2	6	第3編 世界の結合	
		学習のまとめ	

□は51年度に録画済みのもの

性をもった授業方法の一つであると考  
 えた。  
 一、年間計画の作成(表1参照)  
 授業を進めるにあたっては年間計画  
 を作成しなければならぬが、その作  
 成にあたっては次のことを重点とし  
 た。  
 □ 授業進度が毎年遅れがちであるの  
 で、年間計画に合った進度とする。む  
 しろ、計画より早めに進めるようにし、  
 余裕をもって単元ごとにまとめの時間  
 をおこなうようにする。  
 □ 授業に教育テレビ「現代の世界」

の内容を取り入れるため、年間計画の  
 備考の欄にテレビ視聴又は録画計画  
 の月日を記入しておき、これを利用す  
 る。  
 二、授業の展開  
 生徒が積極的かつ主体的に取り組む  
 ために、授業の展開については次のこ  
 とを重点とした。  
 (一) 発表学習について(表2参照)  
 ① 発表学習の内容は、地理Bの「世  
 界の諸地域」の中で、各生徒にテーマ  
 を与え、それをさらに細項目にわけて  
 まとめやすいようにする。

② 発表内容は、発表する授業時間の  
 二日前に、その要旨を「発表準備用紙」  
 又はノートに整理し、教科担任の指  
 導を一回以上受ける。  
 ③ 発表内容は地理的な内容であるこ  
 とが第一条件であるが、発表に関係す  
 る国や地域の地図を一枚以上、板書、  
 模造紙又はTPに描くよう指導する。  
 ④ 発表時間は一人あたり十五〜二十  
 分とし、発表後二問以内の質問を受け  
 良い質疑応答には点数を与えて学期末  
 成績に加算する。  
 ⑤ 発表を聞く生徒は毎時間「発表学  
 習記録用紙」に内容を記録し、教科担

任の検閲を受ける。  
 (二) 教育テレビ「現代の世界」の活用  
 について  
 ① 「現代の世界」の録画は前もって  
 綿密な準備が必要であるが、これには  
 空き時間を充てるか、タイムスイッチ  
 の活用をはかる。  
 ② 「現代の世界」の利用は、五十二  
 年度の録画だけでは内容不足なので、  
 五十一年度に録画したのもも授業に取  
 り入れる。  
 (三) 授業展開上の留意点(表3参照)  
 授業の流れの中で、最もたいせつな  
 ことは次のような点である。  
 ① 生徒の学習レディネスがどの程度